

達成度：H29.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

## 住民協働課の目標（平成 28 年度）自己評価書

住民協働課長 清宮 高由起

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p><b>1 協働の推進</b></p> <p>(1) 地域の活性化や課題等に取り組むための、住民活動団体等の自由で自発的な公益活動に対する住民提案型の住民公益活動補助金の交付を行います。制度の周知を浸透させるため、チラシの作成、広報紙、ホームページ等で積極的にPRをしていきます。</p> <p>(2) 住民活動団体の財政基盤強化のため、収益事業について提案していきます。</p> <p>(3) 住民と行政との協働による地域づくりを一層推進していくために、積極的に地域担当委員が地域に出向き、連携を図っていきます。</p> <p>(4) 協働のまちづくりを推進するため、住民や職員を対象に講演会や研修会を実施します。</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>3</p> <p>3</p>	<p>・住民公益活動補助金（団体提案型）を9団体へ交付することにより、住民が行う自発的な公益活動である住民活動を支援することができました。</p> <p>また、制度の周知のため、チラシ・広報紙・ホームページ等を利用しPRしました。</p> <p>・住民活動団体を対象に、株式会社高千穂ネットワーク代表取締役社長 中村正明氏を講師に招き「住民活動のための情報発信と資金調達」をテーマとした研修会を約30名の参加を得て開催しました。この受講により、一部公益活動団体が事業についてスポンサーを募るなどして効果がありました。</p> <p>・各地域に地域担当員を配置し、住民と行政の緊密な関係を築きました。</p> <p>・協働のまちづくりを推進するため、講師（作家 シュミット 眞寿美氏、株式会社高千穂ネットワーク代表取締役社長 中村正明氏、市民社会パートナーズ代表 庄嶋孝広氏）による協働のまちづくり研修会を3回開催しました。</p>

<p>(5) 地域課題解決や新たな町の政策形成等に寄与する創造的なまちづくりの研究事業を行う拠点の「酒々井まちづくり研究所」の管理運営を行います。また、全国のまちづくり実践者や指導者との学習及び研究の場として「第4回輝く創年とコミュニティ・フォーラム」を開催します</p> <p><b>2 チャレンジ目標</b></p> <p>住民公益活動補助金制度の課題提案型で、具体的なテーマを「子育て応援！多世代交流」に設定しました。採用となった住民活動団体の活動については、全面的に支援します。</p>	<p><b>4</b></p> <p><b>1</b></p>	<p>・第1期師範塾生及び住民活動団体交流会運営委員による、月1回の「まちづくり研究所」定例研究会（コミュニティ・フォーラム実行委員会と同時開催）において、情報交換、コミュニティ・フォーラム及びイベントの実施について検討・協議しました。新規事業として、全国生涯まちづくり協会に業務委託し、まちづくりセミナー全8回を実施しました。</p> <p>また、「第4回輝く創年とコミュニティ・フォーラム」を開催しました。</p> <p>・住民公益活動補助金（課題提案型）平成28年度のテーマ「子育て応援！多世代交流」について公募しましたが、住民活動団体から応募はありませんでした。</p>
---	---------------------------------	---